

「畜産GAP」でより良い農業生産を！

GAPとは、
畜産物（食品）の安全を確保し、より良い生産工程管理を実現する取組！

「畜産GAP」の紹介！

平成29年夏を目処に運用開始、今から準備！

- 畜産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全を確保することです。
- 生産者のみなさんは、生産物の安全を確保するための生産履歴の記帳を中心に、**家畜衛生、アニマルウェルフェア、環境の保全、労働の安全**などを確保するための点検などを日頃より行っていることと思います。
- 畜産GAPとは、これらの取組状況を記録簿や掲示物によって“見える化”しながら**畜産物（食品）の安全を確保し、より良い生産工程管理を実現する取組**です。

GAPに取り組むと経営の改善に効果があります！！（農産物の例）

GAP導入による経営改善効果



出展：「GAP導入による経営改善効果に関するアンケート調査結果」(H25.1 (独)農業・食品産業技術総合研究機構)を
基に農林水産省生産局農業環境対策課で作成

<コラム> 2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック競技大会でも持続可能性の観点から、畜産物の調達基準にGAPの取組が求められています。

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会(以下「東京オリパラ大会」)で提供される畜産物は、食材の安全、環境保全、労働安全、快適性に配慮した家畜の飼養管理(アニマルウェルフェア)の4つの要件を満たすものであることが求められています(注)。これを見ると、東京オリパラ大会に自分が生産した畜産物を提供することは難しいと思った方も多いのではないのでしょうか。

しかし、「畜産GAP」の認証を受ければ、これら4つの要件を全て満たすことになります。

注：「持続可能性に配慮した畜産物の調達基準」 2017年3月24日（公財）東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会公表

(1) GAPに取り組みましょう！！

まずは農業生産のレベルアップ！！

GAPをする

ステップ1 : 基本の整理整頓から！

みなさんがこれまでも取り組んできた整理整頓や、生産履歴の記帳が基本です。



写真提供:(一財)日本GAP協会



0044JP - 0314157

ステップ2 : チェック項目に従って、農場内を点検！

いつもやっていることですが問題点を見つけたら改善していきましょう。

家畜衛生・食品安全

<日頃の取組>

専用の作業服、履き物などの着用



来訪者への専用の作業着への更衣等の衛生指示

など

ほかにも
農場・畜舎への出入りの制限

環境保全

<日頃の取組>

適切な家畜排せつ物の処理・保管、利用の促進



構造設備に関する基準に適合した管理施設

ほかにも
代替敷料利用として戻し堆肥の利用

労働安全

<日頃の取組>

機械・設備の点検・整備、作業安全用の保護具の着用



危険箇所の掲示をする

など

ほかにも
事故防止の作業手順書作成

人権保護

労働者との意見交換
技能実習生の作業条件遵守

など

農場経営管理

責任者の配置、教育訓練の実施、
内部点検の実施

など

アニマルウェルフェア

快適性に配慮した家畜の飼養
管理の実施

GAPに取り組むときには、**指導員**の指導を受けることが効果的です。

今後、(一社)日本GAP協会が承認した機関により指導員の養成研修が行われます。

※ 営農指導員や普及指導員から指導が受けられれば、**コンサルタント費用が削減**できます。

※ 農協等では、営農指導員などが指導者研修を受講し、推進体制を整備することが有効です。

ステップ3 : GAP取得チャレンジシステムにトライ!!

自信のある方はステップ4へ

(畜産GAPの認証の取得の準備段階としての取組)

- ・GAP取得につながる取組・項目をリスト形式で提示
- ・食品安全、家畜衛生、環境保全、労働安全、アニマルウェルフェアなどをカバー
- ・自己点検内容を第三者が確認し、農場名をWebで公開
- ・平成29年夏を目処に運用開始の予定(実施主体:(一社)中央畜産会)
- ・アニマルウェルフェアを中心に、研修会やセミナーも予定

(2) GAP認証を取りましょう!!

次のステップへ挑戦!!

GAP認証をとる

- ・取引先に持続可能性に配慮した取組が見える化したい
- ・東京オリンピック・パラリンピックに畜産物を提供したい
- ・輸出先にアピールしたい

※ 認証を受ける場合は一定の費用がかかります。

認証を取り
ましょう!!

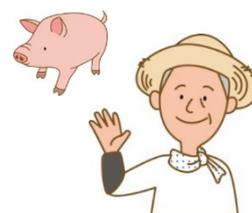
ステップ4 : 準備完了、いざ審査!

- ・審査機関に申込み。(相談はお早めに)
- ・審査員に取組を評価してもらいます。→ 指摘があれば改善!



ステップ5 : ついに認証取得!!

- ・引き続き、より良い農業生産に向けて改善していきましょう!
※ 認証取得までに一定期間かかります(農産物では、標準で半年~1年程度)。
※ 認証の有効期間は通常1年間です。
※ 認証を取得する場合は一定の費用がかかります。



(注) JGAP家畜・畜産物については、平成29年夏を目処に認証体制を構築することとしています。

GAP認証の取得で販売先を拡大!!

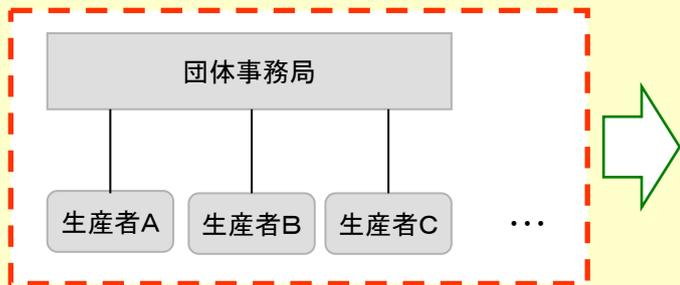
取引先の要望をよく聞いて、必要な認証を取得しましょう。

	JGAP	GLOBALG.A.P.
オリンピック・パラリンピックの調達基準での要請	○	○
国内販売先の取得要請(農産物)	△ (一部の大手スーパーなど)	△ (一部の大手スーパーなど)
海外マーケットの現状(農産物)	△ (台湾、香港、東南アジアで普及推進中)	△ (特にヨーロッパで普及)*注

*注: 畜産物はヨーロッパ等で一部普及

(参考) 団体認証について (今後、日本GAP協会が基準を策定予定)

複数の生産者が集まってグループを構成し、認証取得を目指す取組です。



<団体認証の効果>

- 個別認証で求められる取組の一部が団体の取組として共通化され、個々の生産者の皆さんの負担が軽減されます。
- グループが大きくなるほど、個々の生産者の皆さんの費用負担は軽減します。

※審査費用 (農産物の例)

個人	団体 (50名の場合1名あたり)
10万円~55万程度	2万円~11万円程度

GAP認証の事例

宮崎大学農学部住吉フィールド (宮崎県)

「食」と「農」のリスク管理技術者養成を目指す!

<特色>

- 肉用牛と乳用牛について、日本で唯一GLOBALG.A.P.認証を取得。
- 学生教育に活かし、「食」と「農」のリスク管理技術者養成を行う。

<効果>

- GAPに則した管理技術を学んだ人材を全国に輩出することで、国産畜産物の競争力upなどが期待できる。

GLOBALG.A.P.



学生を対象とする実践教育

「農場HACCP認証農場」の審査は一部免除!

- 既に農場HACCP認証農場の認定を受けている農場では、基本的にはJGAP基準書(家畜・畜産物)中、食品安全及び家畜衛生に関する審査項目が一部免除(差分審査)され、通常の審査料金からの減額が行われます。 (ただし、審査の過程で必要に応じ食品衛生及び家畜衛生に関する事項についても審査を実施します。)

農場HACCPとは、

畜産農場における衛生管理を向上させるため、危害要因(微生物、化学物質、異物など)を防止するための管理ポイントを設定し、継続的に監視・記録を行うことにより、農場段階で危害要因をコントロールする手法です。

このパンフレットやGAPについてのお問い合わせ

農林水産省生産局 畜産振興課 (代表) TEL 03-6744-2276